

永久保存版
医者だけが
知っている

最強の病院52

磯山さやか
幻のマシュマロ



週刊現

特別定価
580円
11月11・18
Weekly Gendai
2023
November

山粧心秋の特大合併号



志田音々
綺麗になったね



松田宣浩
「熱い男」
グラウンドを走らせた



特別対談
山中伸弥×
本木雅弘
「心の友よ」

診療科別

- 呼吸器 聖路加国際病院
- 消化器 大阪赤十字病院
- 腎臓・糖尿病 湘南鎌倉総合病院
- 心臓・血管 千葉西総合病院
- 脳神経 東京医科大学病院
- 整形外科 八王子スポーツ整形外科
- 眼科 杏林アイセンター
- 肝胆膵 虎の門病院
- 乳がん 相良病院ほか

最強の病院52

一流の医師たちが
本気で推薦する

米投資会社「ブラックロック」の野望
潜入ルポ 極右サイト管理人を訪ねて
「フレイクニュース」が
生まれる部屋



銀座で洋画を育てて
「日動画廊」
物語



「名医」が

教育にも力を入られる

「最強」の病院

また、世界で初めてiPS細胞による再生治療を行った機関でもありません。いまこの技術は網膜

の「黄斑変性」という疾患に使われており、注目を集めています。既存の方法ではなかなか

か治療を受けられなかった患者さんに対応してくれる、優れた病院です」(平松氏)

「脳神経外科の分野において、もともと難易度が高いとされる『頭蓋底外科手術』については、東京医科大学の河野道宏先生と、私が所属する大阪公立大学の後藤剛夫が、東西の双璧をなすと思います。」

河野先生はとくに、『聴神経腫瘍』という腫瘍などを含む『後頭蓋窩疾患』というきわめて難しいタイプの疾患の手術の経験が豊富です。

もともと、名医が一人ぼつんといるといっただけではない、いい病院とは言いがたいのも事実です。同時に教育にも力を入れ、後輩医師が先輩医師の手術を見て学べるような環境があつて初めて、病院全体として手術の技術が伸びていくのです。その点、河野先生は教育にも熱心でいらつしやいますし、非常に信頼が置けます」

氏(東京医科大学病院脳卒中センター長などを務める)は、自身が所属する東京医科大学病院をどのように見ているのか。河野氏本人が語る。「私たちの病院は、手術の際に行う『モニタリング』について、非常に充実した体制を整えていると自負しています。私が専門とする聴神経腫瘍は、顔面神経などに癒着し、それらを圧迫します。そのため手術の際には、腫瘍を取り除くだけでなく、顔面神経などの機能を保存することが重要です。ややもすれば顔面麻痺などにつながり、患者さんのQOLを大きく損ねてしまうからです。そのため、手術中に神経を繊細に観察すること(術中神経モニタリング)がきわめて重要。我々のチームには、それを専門にする臨床検査技師が二人いて活躍しています。その結果、高い治療成績を上げることができてい

東西の二巨頭

脳神経外科では、脳腫瘍や脳動脈瘤(脳の内部の細い血管にできたこぶ)といった、脳の疾患に関する難しい手術が日々行われている。

これらの疾患は珍しい事例だと思われるかもしれないが、そうとも言いきれない。たとえば脳腫瘍に焦点をしばって、1年間に入院となつ

た件数は5万6093件、そのうち何らかの脳神経外科治療を受けた件数は2万3460件となつている(19年)。

脳腫瘍などの手術をするときは、脳の広い範囲を切除することが多く、困難な手術をやり遂げる高い技術が求められる。「最強の病院」の選出にあたっては、その病院に

「手術の名手」が所属しているかが、まずは重視された。大阪公立大学名誉教授の大畑建治氏は、毎年約120もの脳腫瘍手術を行ってきた、この分野の名医だ。その大畑氏が推薦するのが、東京医科大学病院、獨協医科大学病院、千葉大学医学部附属病院、そして、自身も関わる大阪公立大学医学部附属病院である。

と判断した患者さんを送る、「最後の砦」となっています。谷川先生は、とくに複雑な動脈瘤のバypass手術にかけてはトップクラスの腕前です。一般的に、脳神経外科という分野においては、医療機関や設備の充実度というよりは、どの医師が中心となつて組織をつくっているかが重要で

ます」

そんな河野氏にも、いと思う病院を推薦してもらつた。

「まずは札幌榎心会病院です。同院の脳卒中センター長の谷川緑野先生の存在が大きいですね。どんなに難しい手術でも決してあきらめない侍のような先生です。同院は、全国の脳神経外科医が『自分では救いきれない』

と判断した患者さんを送る、「最後の砦」となっています。谷川先生は、とくに複雑な動脈瘤のバypass手術にかけてはトップクラスの腕前です。一般的に、脳神経外科という分野においては、医療機関や設備の充実度というよりは、どの医師が中心となつて組織をつくっているかが重要で

と判断した患者さんを送る、「最後の砦」となっています。谷川先生は、とくに複雑な動脈瘤のバypass手術にかけてはトップクラスの腕前です。一般的に、脳神経外科という分野においては、医療機関や設備の充実度というよりは、どの医師が中心となつて組織をつくっているかが重要で

るとスタッフも引き抜かれ、一気に組織力が落ちることもある。その点、札幌榎心会病院は、谷川先生が師である上山博康先生と手術の手法を伝える塾を開いていたこともあつて、谷川先生の下の代にも、着々と後進が育つている。筆頭

頭は野田公寿茂先生でしょうか。3代にわたつて技術が引き継がれてお

術後のフォローが完璧

り、安定感があります。埼玉医科大学国際医療センターもいい病院だと思えます。同センターの栗田浩樹先生は、きわめて複雑な手術が必要となる『脳動静脈奇形』という疾患の治療については、日本で一番だと思えます。ほかにも、手術中

にこぶが破裂する恐れがあり、命に関わる病気として知られる脳動脈瘤の治療も得意にされている。しかも栗田先生は、執刀中の様子を撮影したビデオのライブラリーをつくつたり、寺子屋のような場をつくつたり、教育にも熱心です」

開業医の視点からはどのように見えるのか。くどうちあき脳神経外科クリニック院長の工藤千秋氏が挙げるのはNTT東京関東病院だ。「こちらは24時間つねに患者を受け入れる体制を整備してくれているのですが、開業医としては、まずその体制を維持する努力に大きな信頼を置いています。」

40年間脳神経外科医をやっていますが、これまで見てきたなかでもトップレベルの技術をもつ病院だと思えます。さらに、帰ってきた患者さんにも『説明が丁寧でよくわかる』とおっしゃっています。そして実際、手術後に定期的に検査をしてもらえるなどフォローアップも素晴らしい。文句なしだと思います」

名医が勧める「最強の病院」
【脳神・経】

病院名	所在地	ここがすごい
札幌榎心会病院	北海道札幌市	谷川緑野氏をはじめ、後進の野田公寿茂氏など、名医がそろつ
獨協医科大学病院	栃木県下都賀郡	頭蓋底の内視鏡手術のエキスパート・阿久津博義氏が所属
埼玉医科大学国際医療センター	埼玉県日高市	脳卒中発作などの急患が多く運び込まれ、医師の経験が豊富
千葉大学医学部附属病院	千葉県千葉市	頭蓋底の手術が得意な堀口健太郎氏が所属。講習会にも熱心
東京医科大学病院	東京都新宿区	手術が難しい頭蓋底、聴神経腫瘍の領域での手術件数が圧倒的
NTT東日本関東病院	東京都品川区	術数が多く、患者への説明も丁寧。術後のフォローにも定評
大阪公立大学医学部附属病院	大阪府大阪市	開頭、内視鏡いづれの手術にも秀でた、後藤剛夫氏が所属